

2026年
新春号

草津介護医療院

ここ・なご通信

新年あけましておめでとうございます。

きりりと冷えた空気の中に、新しい一年の始まりを感じる季節となりました。昨年は、こころ棟で浴室の改装がありドーム型のシャワー浴装置が導入されました。また、秋のフェスティバルでは声楽隊の透き通った歌声とちんどん屋さんの口上に、懐かしさで涙を流されている入所者さんもおられ、ご家族様も一緒に楽しんでいただけたと思います。本年もお一人おひとりの笑顔に寄り添い、陽だまりのような温かい時間を過ごせるように職員一同努めてまいります。

寒さ厳しき折、どうぞお身体に気を付けてお過ごし下さい。



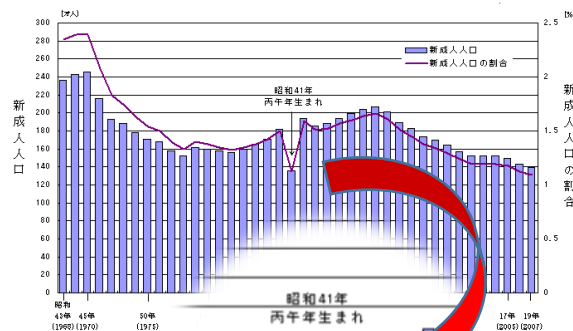
ひのえ うま
丙午

の迷信について・・・

「丙午の年に生まれた女性は気性が荒く、夫の命を縮める」という迷信は、日本独自のものだそうです。その背景に、江戸時代初期に丙午の年は火事が多いという迷信と八百屋お七の事件が関係していると言われています。お七は恋焦がれる相手に会いたい一心で放火し火あぶりの刑に処されるという悲劇を迎えます。このお七が、浄瑠璃の作品の中で寛文6年**丙午**生まれと描かれたことから、「丙午の女性は気性が荒く、夫の命を縮める」という言い伝えが広がったと考えられているそうです。

その影響で1906年（明治39年）には女兒の出産を避ける動きが見られ、出生率は前年より約4%減少し、1966年（昭和41年）にはその傾向が一層強まり出生率は前年よりおよそ25%も減少してしまい、出生率の分布をみると一目瞭然で分かるほどだったようです。

（総務省統計局データより）



そうなんだ



介護医療院の様子（フェスティバル・クリスマス演奏会など）



外国人さんをはじめ、未来の介護福祉士さんに向けた介護技術研修が行われました。みんな真剣に研修を受けていました。担い手不足の介護職ですが、明るく元気なケアパートナー達に日々、力を貰っています。

介護職員さん
大募集中

